

# 萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

9月に入っても、日中は、まだ、残暑が厳しいですね。先日、太陽の下で一日仕事をしていましたら、腕が真っ赤になり、今更ながら、腕の皮がむけ始めている堀内貢次

です。しかし、朝・夕は大分、涼しい風が窓から入ってきたり、陽もかなり短くなってきたりして、少しずつ秋らしくなってきましたね。

今月の末頃にでもなれば、本格的な秋の気配がやってくると思います。

## 「松本の手乗りハト」

8月の初めに家族で松本へドライブに行きました。松本駅から10分近くにある縄手通りは、下町情緒のあるお店が軒を連ねて楽しい所でした。

途中に、四柱神社というのがあり、そこでハトの餌を買って与えようとしたら、ハトが餌をもらいに寄ってきて、手乗りバト状態となりました。かなり、人にも慣れていて、写真では、三羽でしたが、最高で八、九羽が肩や頭へまでよじ登り、ツメは腕の皮膚に食い込んで痛くて怖いくらいでしたが、その後は、信州そばや山菜つけもの食べ歩き、しっかりと松本観光をしてきました。

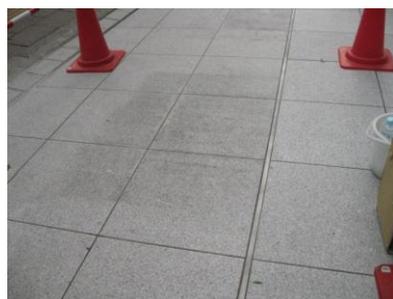


## 「床に貼った広告ののり除去」

今月の石材メンテナンスは、ある展示会で、御影石の床に表示用のポスターを貼ったのですが、展示会の後に剥がしてみたら、ノリが石目にまで入りこんでしまい、濡れたようなシミが出来てしまった現場からです。ポスターを剥がした後も洗浄は行ったようですが、夏の暑い時期に展示会があったので、ノリの成分が溶け出してしまい、石が濡れたような感じになってしまったようです。こうなるとシミ抜きと同じような方法でテープのノリを取っていく方法を取ります。

まず、始めは、ノリの成分を出来るだけ溶かしていくように、溶剤を何度もたっぷり塗布しては拭きあげていきます。ノリのべとべと感が汚れも抱き込んでいるようで、ある程度、溶剤拭きを繰り返したら、更に、きれいな溶剤の容器を別に用意して、最終的にもう一度、洗浄していく事が大切です。

溶剤が十分に乾燥したら、ノリの成分を芯まで取りきるように、アルカリ洗剤を使用し、シミのあった石の1枚分を洗っていきます。



のりシミ

洗っていきます。

これだけ、シミ抜き洗浄を繰り返したので、さすがに石の汚れも取れて少し綺麗になってしまいましたが、暫くすると、歩行等によって、馴染んでくる旨をお話し、終了しました。



溶剤でのりを溶かしていく



シミ除去後

## 「タイル張替え前のノンスリップ仕上げ」

あるデパートのエントランスの床タイルが数枚割れてしまったようで、張替え工事を行うことになりました。タイルが、滑りやすい材質なので、石貼り前に滑り止め施工を頼まれ、石屋さんの工場へ行き施工してきました。商業施設では、このように事前処理をする施工が増えています



(編集後記) 今月に誕生日が来て、とうとう、50歳になりました。人生の折り返しは、健康に関心を持ち、偏屈な年よりにならないよう、ゆとりある考え方を身につけていくように心がけていこうと思っています。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)